

第2回 2nd Meeting



テーマ

市民が利用しやすい庁舎について 考えてみよう

日時 / 場所

2018年4月7日(土) 13:00 - 16:00

市役所本庁舎3階第1会議室

プログラム

13:00

PROGRAM 1
開 会 / あいさつ

13:05

PROGRAM 2
市民の意見について報告

13:25

PROGRAM 3
前回ワークショップの振り返り

13:30

PROGRAM 4
本日のワークショップの目的とめざす成果

13:35

PROGRAM 5
本日の作業テーマに関する事例紹介

14:00

PROGRAM 6
グループ別ワークショップ開始

15:50

PROGRAM 7
全体のまとめ

16:00

終了

第2回 2nd Meeting



第2回目となる今回のワークショップでは、前回のワークショップで作業した現庁舎の分析と新しい庁舎への期待を踏まえ「市民が利用しやすい庁舎」とはどんな庁舎なのかということを中心に作業を行っていただきました。

作業前に、今までに寄せられた市民の皆様の意見をご紹介、また、議論の参考としていただく他市事例を見ていただきました。

グループ別の作業では、「市民が利用しやすい窓口や案内」「誰もが使いやすい庁舎の工夫」について検討しました。

説明のようす・ご意見の例



① 市民意見募集・アンケートの説明

ワークショップに先駆けて、2つの調査が行われました。さまざまな視点での意見・要望が寄せられています。新しい庁舎には、大切な予算をもとにどのようなものをどの程度整備するのが良いでしょうか？

② 市民意見募集の結果（募集期間：1月4日から2月16日）

ホームページで22件、意見箱に34件、母子検診時にご協力いただいた方から53件など計115件の意見が集まりました。

③ 市民アンケートの結果（募集期間：1月23日から2月5日）

設問+自由意見を記入できる形式としました。3000件の配布のうち、回答をいただいたのは1200件あまり、回収率は約40%でした。

④ 意見募集やアンケートで寄せられた意見の例

※詳細分析・報告については後日公開を検討しています。

◎新庁舎にとって大切と考える項目（アンケート結果の上位項目）

- ・ 駐車場、駐輪場
【意見】十分な台数確保、駐車料金の無料化などが必要
- ・ 高齢者や障害者等に対するユニバーサルデザインの配慮
【意見】・エレベーター、駐車場、通路幅、トイレなどの改善が必要
・ 授乳室、オムツ交換の場所、子供の遊戯スペースの設置が必要
- ・ 案内機能
【意見】・玄関の案内や職員の対応についても良いところ、悪いところの両面から意見あり
- ・ 災害時の避難機能
- ・ プライバシーに配慮した窓口
【意見】・相談窓口でのプライバシーを確保することが必要

作業の前に、他市の事例を見ていただきました。東京都立川市*1の市庁舎と山梨県甲府市*2の市庁舎です。

両施設とも、今回の市民意見募集やアンケートで要望が多く寄せられた、さまざまな「市民交流のための施設」を整備しています。

また、現庁舎のユニバーサルデザイン対応不足について、多くの改善要望が出されています。これは、新庁舎で取り組むべき課題ですが、みんなが使いやすい庁舎はどのようにすれば実現するのでしょうか？

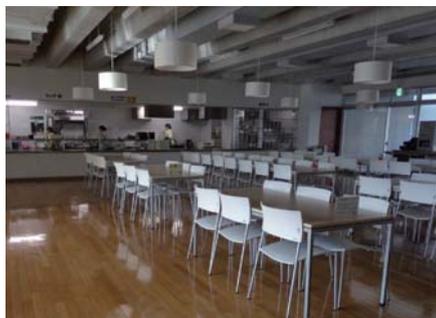
第2回

2nd Meeting

PROGRAM 5

事例紹介

事例紹介



① 例) 立川市役所のレストラン

一般的なレストランとは違い、職員の皆さんが利用しやすいような形態がとられています。「おしゃれ？」かどうかは微妙ですが、市役所のレストランは内装などの雰囲気以外にも考えるべき工夫があるようです。

② 例) 甲府市役所の総合案内

木の温かみのあるカウンターで係の方が対応しています。大型モニターが3台あり、紙類の資料は少ないようです。奥には総合案内板があります。人・モニター・紙・サインのバランスが参考になりそうです。



③ ユニバーサルデザインの実現に向けて

一般的なバリアフリー対応だけでは、「みんなが使いやすい」施設にならないようです。説明者から以下の問いがありました。みなさん分かりましたか？

【問い】

ある建物で、全盲の障害がある利用者に配慮し、注意喚起床材、誘導用床材を設置しました。石を使った玄関のデザインに配慮して高級感あるステンレス製のものを設置しました。建物使用后、利用者から「使いにくい！」という意見が寄せられました。どのような利用者でしょう？

【回答例】

車いす利用の方 → 走行しにくい！
ベビーカー利用者 → 子供が起きる！
職員、運送業者など → 台車が使えない！
高齢の方 → すり足の人がつまづく！
弱視の方 → どこにあるのかわかりにくい！
全盲の方 → そもそも利用しにくい！



どうすれば「みんなが使いやすい」なる？

*1 東京都立川市 89万世帯（18.2万人）東京都のほぼ中央に位置し、首都圏「業務核都市」に位置づけられている

*2 山梨県甲府市 90万世帯（18.9万人）甲府盆地の中央に位置し、自然に恵まれた環境の都市で施行時特別市

前回と同じ班分けで、次の2つのテーマについて作業しました。

テーマ1：市民が利用しやすい窓口や案内

テーマ2：誰もが使いやすい庁舎の工夫

新庁舎ではどのような工夫が利用者にとって、また、そこで働く職員の方にとって使いやすさにつながるのでしょうか？前回より少々課題の難度が高かったのですが、みなさんに一生懸命アイデアを出していただきました。



ワークショップのようす

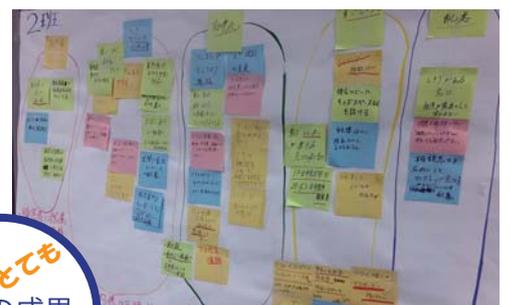


① 作業の様子

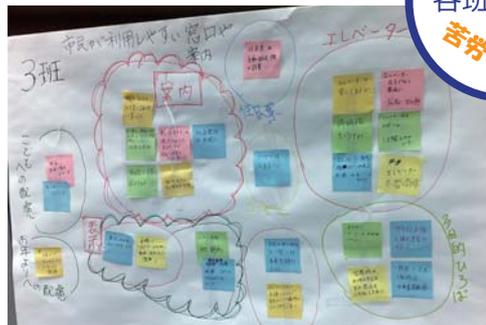
理想としている要望施設が必ずしも新庁舎整備に適しているかという点についても、意見が交換されました。費用をかけても必要なものとそうでないものについて整理が必要です。

② 発表の様子

前回に引き続き、今回も各班から作業の成果のまとめについて発表していただきました。他の班からの意見発表を熱心に聞いていただいていたようです。お互いの意見が参考になったことと思います。



とても
各班の成果
苦労した!



第2回 2nd Meeting

あとがき

参加者の皆さん、第2回のワークショップおつかれさまでした。
どのような工夫をすれば、利用しやすい窓口や案内が実現できるのか、利用者目線で貴重なご意見をいただきましたと思います。
「利用のしやすさ」という意味では、機能的な面での利用のしやすさと精神的な面での利用のしやすさの2面性があり、皆さんからは、その両面からの対応を期待されていることがよくわかりました。
また、だれもが使いやすい庁舎の工夫としては、特に配慮が必要な利用者への対応について、いろいろな意見をいただきました。利用される皆さんが同じようにサービスが受けられるよう、今回のワークショップを参考に整備を進めていきたいと考えています。

次回

テーマ

**「市民参加による田辺のまちづくり拠点」として
新庁舎に整備することが望ましい機能や
スペースについて考えてみよう**

日時 / 場所

2018年4月28日(土) 13:00 - 16:00

市民総合センター 2階交流ホール